

新春白部

発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市中央
7-10-9
電話 736-9933
FAX 736-9991

暮らし・福祉優先の県政を

児玉・飯能南高校の存続を求める



【秋山文和県議会議員報告】

六月県議会では、秋山もえ議員(上尾市伊奈町選出)が初当選後の一般質問を行いました。この中で、県立児玉・飯能南高校の廃止計画の撤回、県立ろう学園の増設等を求めました。

地元猛反発!

「あまりにも唐突」

6月19日県教委は『魅力ある県立高校づくり方針』にもとづいて第一期実施方針(案)として県立児玉高校と飯能南高校の廃止計画を決定しました。廃止対象の児玉高校は2021年に創立100周年を迎える伝統校。体育コース出身の柔道選手は世界選手権で繰り返し金メダルを獲得しています。飯能高校は、ホッケー部など部活動が盛んです。西武池袋線元加治駅から徒歩22分という立地にありながら、新入生定員200人中欠員はわずかです。2校の廃止計画が明らかにになると、地元から直ちに反発

の声が上がりました。25日には、本庄市議会が、統廃合について慎重審議を求める意見書を可決。飯能市議会では、中止を求める決議が可決され、これを受けて飯能市長、教育長連名の中止を求める意見書が県教委に提出されています。この中で「このたびのあまりにも唐突な告知は、県との強固な連携により地方創生を推進する本市並びに市民感情を軽視するものであり、一方的かつ強硬に押し進める当局の対応は極めて遺憾である」と批判しています。

県教委は今後10年で10校程度を廃止するとしており、庄和高校が対象とされる恐れがあります。

独自の少人数数学級制度採用を

秋山もえ議員は、「県が独自の少人数数学級制度を採り入れ、教員を増やせば高校廃止は必要ない」と提案、撤回を求めまし

が、教育長は両校の廃止計画を進めていくと答弁しました。

県政変えるチャンス 8月8日知事選告示

上田知事は、4期16年の県政で①開発優先、福祉、暮らし切り捨てるの国いいなり政治②農業・中小企業切り捨て、誘致型の産業政策③県機構の統廃合・民営化、職員定数削減④安心・安全にほど遠い、基地・災害・消防対策——などを特徴とする県政を進めてきました。その結果、子ども医療費無料制度は就学前にとどまっております。最低です。また企業が県内に移転すると上限1億円補助しますが、中小企業融資制度は10年間で半分に縮小。重度心身障害者医療費助成制度は2015年に65歳以上で対象になった人を締め出し、3年後所得制限(所得360万円)まで導入しました。福祉・暮らし優先の県政へ転換が求められます。

倉敷市

西日本豪雨から1年
倉敷市真備地区の復旧状況を視察

7月23日、党市議団は、昨年7月の西日本豪雨による浸水被害からの復旧・復興を進めている岡山県倉敷市（人口48万1844人）を視察しました。

8カ所の堤防決壊で
地区の約3割が浸水

西日本豪雨は、台風7号から変わった温帯低気圧が、7月5日には梅雨前線と一体化し、西日本を中心に長時間の記録的大雨をもたらし、倉敷市でも観測史上1位の降水量を記録しました。

市内を流れる小田川、末政川、高馬川、真谷川の堤防が8カ所で決壊し、甚大な



全体の約3割が浸水した真備地区

浸水被害をもたらしました。市全体の被害状況は、全壊をはじめとした住宅被害が5977棟、死者は62人に上りました。決壊箇所に近い真備地区では、地区全体面積の3割が浸水し、住宅5740棟が被害を受け、51名の尊い命が奪われました。犠牲者の大半は高齢者でした。

自然と歴史・文化を
未来へつなぐ真備へ

真備地区では、6月30日現在、6879人の被災者が市内外の仮設住宅などで避難生活を送っています。

市が行った「住まいの再建に関する調査」では、約83%の住民が今後も真備町での居住を希望しており、市では一日も早い復興を目指して「真備地区復興計画」を策定しました。

計画期間は2019年度から5年間で、真備の豊かな自然と歴史・文化を未来につなげて、活力あるまちをつくること。また、経験を活かした災害に強いまちづくりを目指しています。

復興に向けた主な施策は、治水対策として、小田川への高梁川からの逆流を防ぐため

に、合流地点を4.6km下流に付け替える事業とともに、決壊した河川の堤防の復旧・強化を緊急的かつ集中的に取り組みとしています。

被災者への生活支援としては、真備地区に住みたい、暮らし続けたいという思いを実現するために、被災家屋の公費解体や、住まいの再建支援、災害公営住宅等の整備などにも取り組んでいます。

また、学校など公共施設や公共交通、商店街の復旧と合わせて、復興イベントを支援することで「まちの賑わいを創出する」としています。

被災者に寄り添った復旧・復興が何よりも大切ではないでしょうか。

高齢者は災害の際、垂直非難が困難な為、犠牲となりやすい事が分かりました。本市に於いても、災害時の高齢者避難の対策が急務です。

救急電話相談#7119

市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系

8/4(日) はまさきの郷クリニック(内科系)一ノ割 3-16-9 TEL731-7777

竹田クリニック(小児科系)大枝 89-3-23-103 TEL735-4501 桜井整形外科(外科系)増富 96-3 TEL761-6629

8/11(日) 春日部在宅診療所ウエルネス(小児科系)内牧 3701-1 エミナス 1F TEL792-0772

名越内科医院(内科系)大枝 89-1-15-101 TEL735-6627 杉浦眼科・豊春分院(外科系)上蛭田 259-

休日の当番医